

21世紀COE 知の最前線

⑦

同志社大学のプログラム

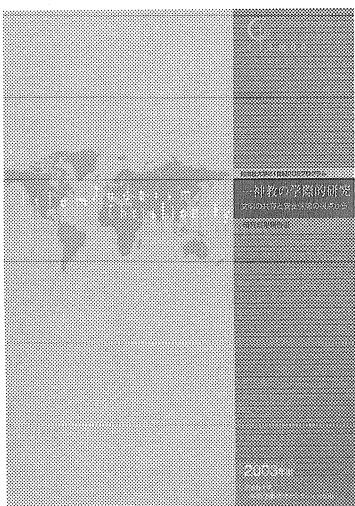
研究活動と並ぶ一神教の学際的研究センターの活動。三つのプログラムの柱は教育活動である。

CISMORのパンフレットはこれを、チュートリアル・エデュケーション(少人数の共同研究)、オンサイト・エデュケーション(中東・アメリカ・東南アジアでのフィールドワーク)、インディペンデント・エデュケーション(大学院生主体の国際ワークショップ)という三つの教育プログラムに改宗した学生も、むろん、牧師養成の課

「一神教の学際的研究」①

従来の教育では対応できない

従来の教育では対応できない。従来の教育では二十一世紀は伝統的な神学教育を逸脱するものではないといえ、神学部でキリスト教教育とイスラームに



CISMORの報告書

決定的だった9・11の衝撃

「いま世界で問題になっているのは宗教と国家の関係だ」と小原教授は語る。9・11のインパクトは決定的で、従来の伝統的な神学教育では時代に対応できない、との認識を促した。「院生には聖職者をめざす者、研究者や社会で専門的な職業を目指す者の二通りの道がありま

国家レベルへの政策提言も

21世紀COE 知の最前線

⑥

同志社大学のプログラム

9・11以降、キリスト教、イスラーム、ユダヤ教という中東で生まれた三つの「一神教」と国際政治の関係について、特に文明の共存や安全保障の角度から議論されることが多くなった。また、多神教を基盤に持つと理解される日本社会の問題も一神教の世界との対比でしばしば論じられる。

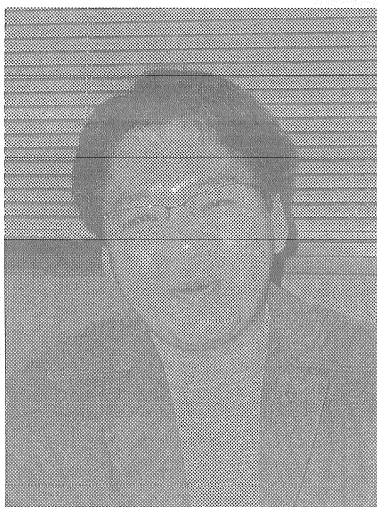
「一神教の学際的研究の国際的な学術ネットワークを作り上げたい」と語るのは同センター幹事の

同志社大学神学部を中核に平成十五年、設立された一神教学際研究センター(森孝一センター)の二神教に関する学際的・総合的な研究活動をCOEプログラム「一神教の学際的研究」は、一を浴びている。

「一神教の学際的研究」①

呪縛から自由な「地の利」も生かし

同志社大学神学部を中核に平成十五年、設立された一神教学際研究センター(森孝一センター)の二神教に関する学際的・総合的な研究活動をCOEプログラム「一神教の学際的研究」は、一を浴びている。



CISMOR幹事の小原教授

国際的な学術ネットワーク構築へ

同志社大学神学部を中核に平成十五年、設立された一神教学際研究センター(森孝一センター)の二神教に関する学際的・総合的な研究活動をCOEプログラム「一神教の学際的研究」は、一を浴びている。